

② 聖アンナの園1952(S27)～

設立 戦時中は国の軍用倉庫だった大船4-1-19の地に、地域の要請を受け、1952年4月、レデンプトール会が児童福祉施設保育所「聖アンナの園」を開所、定員106人だった。57年、社会福祉法人カリタスの園が経営を引き継いだ。「アンナ」はマリア様の母「聖女アンナ」から命名。

カトリックの保育園 朝「神さま、今日一日良い子で、お歌やお遊びをして、お友達とも仲良く、元気な良い子になるようにお守り下さい」お帰り「神さま、今日一日ありがとうございました。わがまました事をおゆるし下さい。お帰りの道であぶない事のないようにお守り下さい」など、食前食後、お昼寝、お庭遊びなど、生活の節目節目にお祈りをする。「だれも見ていなくても神さまは、見ていらっしゃる」が躰の原点。

ドン・ポスコ教育法 19世紀のイタリアの司祭、ポスコ神父が唱え「慈愛・道理・宗教」を3本柱に、相手の目線に立って共感し、信頼関係を築きながら、一人一人が愛されていると実感できる保育を目指している。保育とは子どもの魂に触れることである。

*カリタスの園;カリタスはラテン語で「愛」を意味する言葉で、乳児院(2か所)、児童養護施設(4か所)保育所(8か所)、養護老人ホーム(3か所)、ケアハウス(1か所)を運営する全国組織 アンナ1